※令和４年度以降入学生用

学校番号	3022

令和８年度　商業科

教科	商業	科目	ソフトウェア応用	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

○ワードやペイント系ソフト・ドロー系ソフトを利用して画像処理を中心に「実技」を行います。
○ある程度の操作方法を理解したのち、指定された作品の完成をめざします。
○授業中に完成しなかった場合は放課後を活用し作品を仕上げることを求めます。
○筆記もありますが基本実技が中心なので積極的に参加すること。

2　学習の到達目標

＜知識及び技術＞
　各種ソフトウェアの特性を理解し、適切なソフトを利用しつつ、学んだ知識および技術を、日常や社会環境などと関連付けて深く理解させる
＜思考力、判断力、表現力等＞
　芸術ではなくビジネスとして学び、顧客からの注文や締切が守られているかなど、学んだ知識や技術を活用しながら課題と向き合い、自分の考えをどう判断・表現するか、また模倣ではなく自身の創造を掻き立てる力を身につけさせる。
＜学びに向かう力、人間性等＞
　生活の上で自らまたは集団の中で必要だと思われるようなディジタル作品を作り上げることで社会などと関わり、よりよい人生を送るために必要な資質や能力を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	さまざまなソフトウェアを体系的･系統的に理解するとともに、基本的な操作方法を学び、適切な利用ができている。	ビジネスにおいて、依頼者からの条件や市場の状況を見極め、作品を仕上げている。また自ら課題を発見し、創造的に解決しようとしている。	自ら積極的に実技に取り組み、締め切りを守りつつ、協働的に取り組もうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	ペイント系ソフトの活用	ペイントソフトの基本 ペイントソフトの応用 課題作成	a:基本的な操作方法を理解でき、適切な利用ができている。 b:必要な情報の収集、効率的な検索方法を理解できている。 c:自ら興味を持ち、課題作成に取り組む姿勢や、要求に応え、判断し適切な処理をしようとしている。	プリント 小テスト 課題作成	プリント 小テスト 課題作成 ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ	課題作成 ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ 授業態度
2学期	ドロー系ソフトの活用	ドローソフトの基本 ドローソフトの応用 課題作成	a:基本的な操作方法を理解でき、適切な利用ができている。 b:必要な情報の収集、効率的な検索方法を理解できている。 c: 自ら興味を持ち、課題作成に取り組む姿勢や、要求に応え、判断し適切な処理をしようとしている。	プリント 小テスト 課題作成	プリント 小テスト 課題作成 ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ	課題作成 ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ 授業態度
3学期	総合課題	課題作成	a:課題にそって適切なソフトを選択し活用ができている。 b:必要な情報の収集、効率的な検索方法を理解できている。 c:自ら興味を持ち、課題作成に取り組む姿勢、要求に応え、判断し適切な処理をしようとしている。	プリント 小テスト 課題作成	プリント 小テスト 課題作成 ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ	課題作成 ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ 授業態度

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度